

令和6年度 北秋田市総合戦略検証会議 検証会議委員による意見・提言集

参考資料

- ・第2次北秋田市総合計画・北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略・目標値達成状況（令和5年度分）
- ・北秋田市総合戦略検証会議検証シート・地方創生関係交付金事業（令和5年度分）

令和6年度 北秋田市総合戦略検証会議による意見・提言

<北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略>

戦略1 産業振興による仕事づくり・稼ぐ地域づくり

- ・No. 10 の施策（K P I：起業・創業者数）について。起業される事業者で特に多い業種について教えてほしい。
- ・No. 11 の施策（K P I：新規出店者数（賑わい再生支援事業））について。出店されている事業者について、何か傾向的なものはあるか。
- ・No. 13 の施策（K P I：アンテナショップの取扱い商品数）について。目標値が160商品とあるが、首都圏にある秋田県のアンテナショップに置いている商品数をみても160商品あるかわからない。1自治体のみで160商品となれば目標値の設定が高すぎないか。
- ・同じくNo. 13 の施策について。都内でも空き店舗がある現状、利用希望を求めている店舗所有者が一定数いる中、例えば、ふるさと会会員に呼びかけるなど、販路を広げていくのが手法としてあると思う。秋田の特産品を取り扱いたい事業者をつなぐ役割を市に担っていただきたい。

戦略2 新たな人の流れをつくる移住・定住の促進

- ・No. 23 の施策（K P I：移住定住相談者数）について。移住定住関係のKPI（指標）について、累計の考え方を教えてほしい。
- ・No. 24 の施策（K P I：体験移住参加者数）について。体験移住参加者数の達成率が非常に高い。その分担当職員への業務負担が増しているのではないかと考えているが、現在、担当部署職員の増員など検討しているか。

戦略3 結婚・出産・子育てをかなえる切れ目のない支援の推進

特段なし

戦略4 住み続けたい、安心を築く地域社会の形成

- ・No. 44 の施策（K P I：不登校児童生徒のうち、あきたリフレッシュ学園又はさわやか教室を利用している人数の割合）について。不登校児童生徒が多くなっている傾向を個人的に感じる。不登校支援関係でお話を聞く機会がある。保護者も子どもも困っている。不登校児童生徒の理由も多種多様になっており、発達障害もその一つと聞いている。学童期の大事な時期に、引きこもり支援、幅広い相談等を受け入れる対策を行っていく必要があるのではないか。
- ・No. 49 の施策（K P I：北秋田市民ふれあいプラザ利用者数）について。コムコムの音楽スタジオ等を利用するために、近隣自治体からわざわざから来る団体等が一定数いて、そういった方々がスタジオを利用したら、どこにも寄らずに帰ることが多いとのこと。なにかコムコムやその周辺で足止めできる方法があればよいと考えている。
- ・No. 69 の施策（K P I：オンライン（リモート・SNS含む）での移住定住相談者数）について。移住してくる方又は検討している方々の「移住したい」というきっかけは何か。また、その方々は、北秋田市のどこが魅力的に感じているか教えていただきたい。

＜北秋田市総合計画＞

基本理念 1 健康でしごとにはげむ活力あるまちづくり

- ・ No. 70 の施策（K P I：市内の医療体制について整っており満足している市民の割合）について。訪問看護事業所が年度末に 1 施設廃止ということもあり、残りの事業者には負担がかかっている。がん末期の相談などもきている現状だが、人員不足のため、満足に対応できていない。体制強化と人員確保が必要ではないか。
- ・ No. 73 の施策（K P I：健診受診率（特定健診））について。市民の方で、介護の関係で市外の施設に入所している場合、健康診断の案内がきても受けられないケースがある。その際、連絡窓口はどこになるか。
- ・ No. 78 の施策（K P I：心はればれゲートキーパー養成講座受講者数）について。ゲートキーパーの存在を知らない市民が多いと感じる。受講者数を増やす前に、ゲートキーパーの役割の周知をまずお願いしたい。

基本理念 2 お互いが尊敬し支えあう明るいまちづくり

- ・ No. 89 の施策（K P I：就労移行支援事業の利用者数）について。就労するにあたっての事業者数が北秋田市は近隣自治体と比べて少ない。現状、他市で就労されている方が多い。また通勤等に係る外出の支援サービスがない。就労はできるが、通勤が難しいケースもあり、家族が送迎しなければならず、負担が大きい。今後、移動支援について検討などを行っているのか。

基本理念 3 命のたいせつさを学び文化をはぐくむ豊かなまちづくり

- ・ No. 91 の施策（K P I：伊勢堂岱遺跡を見学したことがある市民の割合）について。遺跡を見学したことがある市民の割合について、一昨年の実績値だと 7 割の市民が見学したことがないという結果だった。それと比較して、今回の実績値を考えると約 10% アップしたという点では評価すべきだと思う。要望についてだが、さらに遺跡に足を運ばせる上で、学術的な魅力も伝えることも大切だが、気軽に足を運べる環境整備が必要ではないか。例えば、保育園児が体験メニューや施設内で食事をしたりするような遠足気分であってもらうようなことが必要ではないか。
- ・ No. 92 の「伊勢堂岱遺跡に関する市のイベントや関連団体に参加するなど既に協力している市民の割合」について。市民参加の割合は増えてきていると感じる。現在、遺跡やガイダンス施設のガイド団体が 2 つあり、1 つは市民たちで構成される「伊勢堂岱遺跡ワーキンググループ」、もうひとつは現在小学校 4 年生から高校生の子どもたちで構成される「伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド」がある。来場者へガイドのアンケートも行っているが、軒並み高い評価を得ている。課題は、ワーキンググループの新規メンバーが中々伸びないことである。現在 20 名いるが、以前は定年退職した知り合いに声をかけて、入会していたケースが多かった。来場者数を増やすのも大前提だが、世界文化遺産になった地元の遺跡に、市民に愛着を持っていただいて、将来ガイドをしたいと思うようになっていただければありがたい。
- ・ No. 94 の施策（K P I：芸術や文化等のグループ活動に参加したことがある市民の割合）について。「グループ活動」の定義について教えてほしい。グループ数よりも人数で KPI を図ったほうがよい数値を得られるのではないか。

基本理念4 自然を愛し環境をととのえる美しいまちづくり

- ・No.106の施策（K P I：公共施設（市直営施設）におけるCO2排出量）について。対象が公共施設となっているが、廃棄物処理施設も入っての数値か。

基本理念5 みんなで力をあわせる住みよいまちづくり

- ・No.125の施策（K P I：消費生活に関する講座、研修会参加者数）について。消費者トラブルに関する出前講座を一回行ったとのことだが、老人クラブの会長さんや自治会の総会等でも周知があってよいと思う。

<その他>

- ・子育て支援について、市から「産前・産後の家事支援」の案内があり、その中に家事代行サービスがあった。非常にありがたいサービスだが、個人的には、ベビーシッターのサービスがあればよりよいのではないかと思うが、現状そのようなサービスはあるか。
- ・他委員から先程質問あった件について追加でお聞きしたい。サービスを受けたい方、サービスを提供できる方の双方の登録を行う仕組みづくりを行えば良いと思う。自宅に来てくれるサービスは産前・産後問わず、子育て支援で非常に重要な部分だと思う。
- ・地域の伝統芸能について、その地域に脈々と伝わってきた伝統芸能や祭りがある。それらを、どういう風に残していけばいいか、市全体でどういう風にやっていけばよいと考えているか。
- ・教育委員会への要望だが、ふるさとキャリア教育の観点から考えると「きらり☆きたあきた」の内容が素晴らしく、この資料集を活用するのが大事だと考えている。伝承芸能や文化等すべて網羅されており、ふるさと教育を推進していく観点から、この資料集が非常によいきっかけとなるが、今後も活用を検討してほしい。
- ・北秋田市は自然環境が恵まれていて、多くの観光客が来ている。その中で人間が創り出した田園風景も、観光客にとって非常に重要であると感じる。ただ、昨今の人口減少・高齢化で田園風景が荒廃してきている。内陸線に乗る観光客も、そういった荒廃した情景を見たりしているので、この景観等について、観光資源にもつながる部分だと思うので農地保全の面で考えてもらいたい。
- ・森吉山の国立・国定公園化を目指す中で今後観光客が増加すると考えられる。有事の際は、ヘリコプターでの搬送等が発生する可能性があると思われるが、市内のヘリポートの数を教えてほしい。
- ・市内のスポーツ施設について、大阿仁地区にも必要だと感じる。

<地方創生関係交付金事業について>

◇「奥秋田サステナブルツーリズムプロジェクト」

- ・具体的な取組内容について、教えてほしい。
- ・説明されたコンテンツ造成などを引き続きやっていただきたいと思う。質問だが、シートに記載のK P I ①【地域への経済波及効果】②【教育市場（修学旅行・教育旅行・留学）収入】③農家民宿関連【農泊・農業体験・きりたんぽ作り体験等】については、4市町村全体の数値か、それとも北秋田市のみの数値か。その上での要望となるが、K P I ②【教育市場（修学旅行・教育旅行・留学）収入】と③農家民宿関連【農泊・農業体験・きりたんぽ作り体験等】については、受入農家さんの数が少ないことから、

北秋田市の割合は少ないと思う。北秋田市内でよりよい施策等をDMOと行っていけるように、市でも引き続き、DMOに対し意見要望を積極的に出してほしい。

- ・遺跡で団体ツアーのガイドをする際に宿泊先なども把握するようにしているが、傾向的に多く感じるのが、前日、青森市や弘前市内の遺跡を巡った後、伊勢堂岱遺跡に見学に来て、宿泊は大館市や鹿角市で宿泊されるパターン。団体を受け入れられる宿泊施設に限りがある中で、どう対策するか課題と感じる。
- ・ホテルの誘致を進めながら、既存の体験コンテンツの充実と宿泊事業者と連携しながら、今できることに取り組んでいければと個人的に感じる。
- ・先日、打当温泉を見させていただいた。そこで改めて感じたことだが、市で世界に誇れるコンテンツは「マタギ文化」だなと感じた。国内宿泊者、外国人宿泊者にもリアルなマタギの文化を宿泊施設で見せることが大事だと感じた。